



のりまつ

校長 佐藤 哲也



学校教育目標

心豊かで自ら学び、たくましく生きる子どもの育成
くやさしく かしく たくましく

「学習評価及びあゆみ」について

本校の評価の仕方についても見直しを行っていますので本校の考え方とともにお知らせします。

1. 【観点別学習状況の評価】

各教科等の観点別学習状況の評価の観点が「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されました。

○「知識・技能」

「覚える知識」のみではなく、社会における様々な場面で「活用できる知識」として身に付いているかを評価します。

○「思考・判断・表現」

知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることを学習状況等から評価します。

○「主体的に学習に取り組む態度」

発達段階に応じて、粘り強く学習に取り組みながら、自分の学習を振り返って、自ら改善しようとする態度を評価します。

☆観点別学習状況の評価

たいへんよい	「十分満足できる」状況と判断されるもの
よい	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
がんばろう	「努力を要する」状況と判断されるもの

2. 評定 【観点別学習状況の評価を基に、総括的に】 3年生以上の3学期の「あゆみ」だけ

教科の学習の様子(1年間の学習の様子)									
教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語
たいへんよい									
よい									
がんばろう									

☆評定の出し方(例)

3観点			観点別学習状況の評価	評定
たいへんよい	たいへんよい	たいへんよい	「たいへんよい」が3つ	たいへんよい
たいへんよい	たいへんよい	よい	「たいへんよい」が2つ「よい」が1つ	
たいへんよい	よい	よい	「たいへんよい」が1つ「よい」が2つ	
よい	よい	よい	「よい」が3つ	よい
よい	よい	がんばろう	「よい」が2つ「がんばろう」が1つ	
よい	がんばろう	がんばろう	「よい」が1つ「がんばろう」が2つ	
がんばろう	がんばろう	がんばろう	「がんばろう」が3つ	がんばろう

「評定」については、前述の観点別学習状況の評価の観点を基に上の表に照らして、各教科の目標の実現状況を総括的に捉え、各教科、年度末に評価します。(裏面につづく)

学年末は総合的に評価することから、特に、3学期のあゆみについては、3学期単独の評価を示すのではなく、1学期から3学期のすべてを総合的にとらえた「年度末」の評価とします。ただし、特別支援学級（のりまつ学級）においては、学期ごとにそれぞれのお子様の様子をお知らせします。

全ての評価は絶対評価といって他者との比較ではなく、各教科の学習目標に到達できているかどうかで判断します。まず、「よい」と「がんばろう」は規準に到達しているかどうかで判断し、さらに「よい」の中で特に優れているものを「たいへんよい」とします。では、「たいへんよい」はどのレベルなのでしょう？

「算数」の「知識・技能」の観点を例にあげると、本校では全国学力状況調査（6年生）北九州市学力状況調査（4, 5年生）を実施しています。それぞれ平均点が60点（正答率60%）ぐらいのテストです。このテストで80点（正答率80%）以上の得点が見込める児童を「たいへんよい」の基準の一つと定めています。もちろん学年によって平均点や人数は違いますが去年の実績をもとに本校の基準に照らして評価をすると「たいへんよい」の人数は1学年あたりおおむね10人～16人ぐらいとなります。（この人数は予め決まった人数ではなく児童の在籍数や学習状況によって減ることもあれば増えることもあります。）

ただし、全国学力状況調査、北九州市学力状況調査で80点以上をとれば「たいへんよい」ではありません。テストは学習の1つの側面しかはかることはできませんから、テストだけで評価は決まりません。授業中の評価などを加えて総合的に評価を決定しますが、「たいへんよい」の子どもは全国学力状況調査、北九州市学力状況調査においても80点以上とれる児童であるという考え方をしているということです。

また、学校でいつも行っているテストでは平均点が80点ぐらいですから学校のテストで80点をとったからといって「たいへんよい」にはなりません。「たいへんよい」をとるにはもっと高得点を常に取りれることが一つの目安となります。

「算数」を例に説明しましたが点数化されているテストの点数が一番わかりやすいため一つの基準として示しました。重ねて申し上げますが、テストだけで評価が決まるわけではありません。授業中の学習態度や成果などを含めて学習を総合的に判断し、評価が決定するということをご理解していただきたいと思います。

さらに評価する側の教師からすると、絶対評価である以上、自分の評価基準が正しいのかを検証するための目安が必要となります。教師が「たいへんよい」をつけた児童のうち多くが全国学力状況調査で80点以上をとれなければ教師の評価基準を見直すことが必要になるということだと思えます。

本校では、「あゆみ」が子どもたちの改善や意欲につなげるものになるよう正しい評価に努めてまいりますが、お尋ねになりたいことなどございましたら学校へご連絡いただきますようお願いいたします。

所見の記述が3学期だけになります。

これまで「あゆみ」のなかに「1学期の連絡」として学校生活や学習の様子を文章でお知らせしていましたが、今年度からは、子どもたちと向き合う時間を増やすためにこれを3学期にまとめて記述することといたしました。お子さまの学校生活や学習の様子は学期末の個人懇談会で担任よりご報告させていただきますのでご理解とご協力をお願いいたします。また、来年度より北九州市の小学校はすべて2学期制となります。詳細につきましては後日、あらためてお知らせいたします。

水泳の授業が始まります

6月7日(金)に

6年生がプールの清掃
を行ってくれました。

6月14日(金)にプ
ール開きを行い、今年
度の水泳の授業が始ま
ります。水泳の授業は限
られた時間数となります

のでお子様の体調管理やプールカードの押印やサイン、忘れ物の確認などご協力いただきますようお願いいたします。

